

一般質問

◆どうなる「市民目線の行政サービス」の在り方

**質問** 今後の「行政サービス」はどうあるべきか、市長の基本姿勢を伺う。

**答弁** 誰もが安心して希望が持てるまちづくりを目指し、市民の声や状況を把握し、必要に応じて、自分の目でしっかり確かめる事を念頭に置き、職員と共に市民目線に立った行政サービスを実践していく。

**質問** 全国の市町村では、書かない窓口サービスの導入が進んでいるが、本市での導入も検討すべきと考えるが、考えを伺う。

**答弁** 当然推進していきたいと考えているが、本市が目指すところは、さらに利便性を上げ、市役所に来なくても手続きが出来るような所までデジタル技術を活用した改革を進めていく。

**質問** 市民からの窓口サービスへの評価を行うことにより、窓口サービスの向上につながると思われるが、評価方法を検討すべきかどうか考えを伺う。



**答弁** 市民と対応させていただく場合、ただの場合、記録を残す、もしくは、しっかり評価をいただくということが、次へのステップにつながることはないかと思っている。やり方も含めて検討させていただく。

◆どうなる今後の「教育環境」の在り方

**質問** 教育行政方針の「学校教育」に関連して、災害時を含めた「防災教育」は重要不可欠と思うが、見解を伺う。

**答弁** 有事の際に、自分の命は自分で守ることができる児童・生徒を育成するためにも、防災教育は重要であると捉えている。

◆市内経済等の対策について

**質問** 物価高騰等による影響に関して、市民生活への対策について伺う。

**答弁** 低所得の子育て世帯給付金事業については、ひとり親世帯322世帯の児童465人、ひとり親以外の住民税非課税世帯155世帯の児童281人に對し、1人当たり5万円を支給している。エネルギー価格高騰対策緊急支援金事業は、交付決定件数は638件、支給総額は1億742万2千円である。いまだにエネルギー価格・物価高騰の傾向は続いているため、国・県の動向を注視し、今後の対応をさらに検討していく。

**質問** 企業の人材不足等が顕著だが、人材確保のため、本市として資格取得支援策等があるか伺う。

**答弁** 生産年齢人口が減少し、専門性の高い技術者の確保が極めて難しい現状に對するため、令和5年度は、資格取得支援事業を実施し、市内企業に對し、積極的な人材育成の取組を促していく。

**質問** 子供たちの安全・安心な環境づくりについて 全国的に子育て時に

ける貧困問題、教育の格差がニユースや新聞などで取り上げられているが、本市では、ヤングケアラーの認知度向上と取組について、どのような対策をしているのか伺う。

**答弁** 広報紙において、周知や理解を図るとともに、小・中学生や教職員への理解を促すべく、啓発活動を実施している。また、小・中学生へのアンケート調査を実施することで実態を把握し、必要な支援を早期に行う。令和5年度からはヤングケアラー等、家庭環境に心配のある子育て家庭に對して、ヘルパーが家事、掃除、買物等の家事支援を行う。子どもと家庭の自立応援訪問事業を実施し、子どもの負担を軽減しながら、生活環境の改善に向けて支援をしていく。

